

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
〔令和元年度事務事業〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	首都圏における堺の魅力発信事業				シート番号	001-023
担当部署名	市長公室	局	東京事務所	部	課 評価責任者(課長名)	本池

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます		後期実施計画の位置付け	
			施策	4	歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出		無	
	2	事業開始年度	平成 23 年度		終了(予定)年度	— 年度		
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)						
	4	関連計画						
	5	事業実施の経緯	都市間競争が激化し、情報発信力の強い首都圏から都市の魅力を積極的にPRする取り組みがますます重要になっている。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	☐ 本庁 ☐ 各区 ☒ 出先機関 (東京事務所) ☐ 市外郭団体				
			☐ 地域団体・市民 ☐ 民間企業・NPO ☐ その他 ()				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	首都圏において、堺市に何らかのゆかりがある人や堺に関心を抱いている広範な人々。				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	他の地域にはない堺の良さや魅力を積極的に発信し、本市の知名度の向上やイメージアップに繋げていく。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	事業対象者から募った会員のネットワークである「東京・さかい交流会」活動を通じて、会員の集いの開催やメールマガジン、フェイスブック等、さまざまな媒体を用いて、堺ならではの良さや魅力を発信。(令和元年においては、台風19号の影響で集いは中止) 令和元年度は、「百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産の登録決定・祝賀イベント」実施。				
			☒ 直接実施 ☐ 指定管理 ☐ 委託 ☐ 補助金 ☐ 負担金 ☐ その他 ()				
	10	直接実施以外の主な支出先					

Ⅲ. 投入量

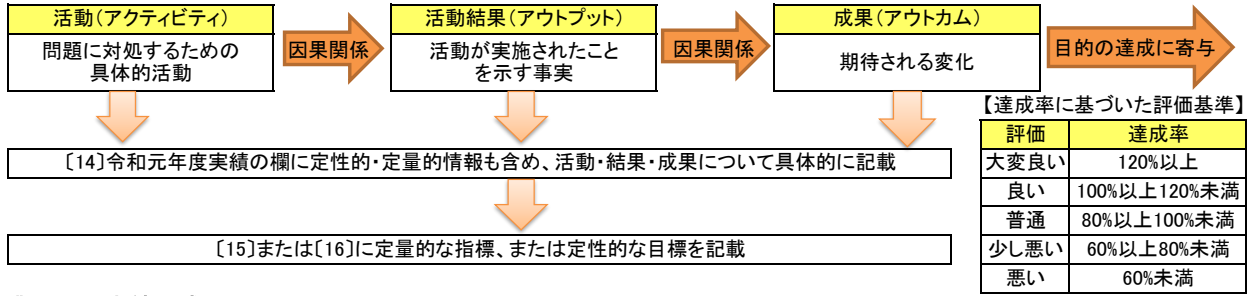
		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
事業コスト	項目	単位	予算	決算	予算	決算	予算	決算
	事業費 (a)	千円	5,308	5,022	6,074	4,546	5,363	2,999
	主な事業費内訳	「東京・さかい交流会」総会開催にかかる経費	千円	3,450	3,510	3,123	2,802	3,495
		その他	千円	1,858	1,512	2,951	1,743	1,868
			千円					
			千円					
	財源内訳	国・府支出金	千円					
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円					
		市債	千円					
		その他()	千円					
		一般財源	千円	5,308	5,022	6,074	4,546	5,363
	12	人件費 (b)	千円	11,480	11,480	11,480	11,340	18,555
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	16,788	16,502	17,554	16,026	21,554

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	首都圏における堺の魅力発信事業	シート番号	001-023
-------	-----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績						
活動実績と成果	14	平成23年度に発足した、首都圏における広範な人々のネットワークとしての「東京さかい交流会」の会員は、令和元年度末現在734人に上る。年に一度の会員の集いである「第9回東京さかい交流会」は、会員同士、特に法人会員との情報交流を目的に企画するも、台風19号の影響により中止となる。情報誌やSNSによる堺市の情報発信に努めた。また、「百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産の登録決定・祝賀イベント」プチフェスタ堺を東京駅近郊のイベントスペースで実施。本庁所管や、堺ゆかりの企業等と連携し、古墳群の紹介のほか、堺の伝統産業品やゆかりの企業のPRや観光情報の発信などを行い、11,642人の来場者があった。				
	15	定性的な目標				
		首都圏における堺市の知名度の向上				
		目標に対する実績	首都圏でのイベントを開催しPR実績、会員ネットワークを通じた情報配信			
	16	定性的な目標				
		首都圏における本市関係者との関係構築				
		目標に対する実績	イベント等開催を通じ協力業者との関係を構築			

事業の効率性

17	区 分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①	堺の魅力発信イベントの集客数	人		11,543	11,642
	②	上記①にかかる年間経費	千円		4,633	4,348
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		401	374
	備考(算出についての説明等)					
18	区 分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	【分析のチェックポイント】 ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。
	東京さかい交流会会員をはじめとする、これまでに関係を構築してきた首都圏在住の人々に対し、複数のツールによる効果的な情報発信を行うことができた。 また、本市が主催するイベント開催を行うことで、主催に協力を得た事業者との関係がより深まった。 これまでの一方向からの情報発信だけでなく、双方の交流を行うことでより、理解や関係性を深める取り組みを意識し、第9回東京さかい交流会を開催する予定であったが、台風19号の影響により、開催が中止となってしまった。年に1回のみの開催でかつ、会場費用のキャンセルができない開催の仕組みでは、今回のように外的要因の影響が大きいといえる。	

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	首都圏における堺の魅力発信事業	シート番号	001-023
-------	-----------------	-------	---------

＜V. 点検＞

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

■ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 ☐ 廃止できる ☒ 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 首都圏において、堺市の知名度、都市イメージの向上、企業誘致、投資誘導をおこなうことは、新型コロナウイルスの影響を受けた社会経済活動を活性化させていく上では必要なことであると考えられる。	
	21	（20で廃止できるを選択しなかった場合） 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止（延期）できないか。	事業休止の可能性 ☒ 休止（延期）できる ☐ 休止（延期）できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 ただちに、直接市民生活への影響があるわけではないが、事業の目的が都市イメージ向上であるため、休止すれば、目的の達成が遅延する	休止の場合の再開時期 ☒ 令和2年度中 ☐ 令和3年度 ☐ 令和4年度以降
	22	（20で廃止できるを選択しなかった場合） 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 ☐ 一部廃止しコスト縮減できる ☒ 一部休止しコスト縮減できる ☒ 規模等を縮小しコスト縮減できる ☒ 事業手法等を改善しコスト縮減できる ☐ 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 ・当初予定していたコワーキングスペースへの入居時期を見合わせることで、入居にかかる費用を削減 ・年に1回行っている東京さかい交流会（総会）は、新型コロナウイルスの感染リスクも配慮し、規模を縮小して、イベントの開催を行う。 ・飲食を伴う、パーティー形式の会の開催を改善し、開催場所を工夫することで会場費用を見直す。	
	23	（20で廃止できるを選択しなかった場合） 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	事業手法の適切性 ☒ 改善する必要がある ☐ 改善する必要がある ☐ 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 テーマを変えて複数回イベントを行うことで、1回の参加人数を減らし、3密を避け、さらに、民間事業者の協力も得ながら、内容の充実を図る。	
	24	（20で廃止できるを選択しなかった場合） 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施（以下の観点で、改善する（または改善済）場合は■、改善しない（改善余地がない場合を含む）場合は□） ① ☒ 公民連携の推進 ② ☒ ICT活用による効率化 ③ ☒ 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名（ 広報戦略部 ） 関連事業名（ 商工労働部 ） ④ ☒ 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ ☐ 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ ☐ その他（ ）	理由・説明 ①公民連携の推進 首都圏での堺ゆかりの企業と連携した事業や協賛事業を展開し、より魅力的で訴求力のある事業を実施する ②ICT活用による効率化 ネットメディア（Facebook、Twitter、LINE、市HP）を活用した戦略的な情報発信を行う。 ③広報戦略部、商工労働部、その他関連部局と連携し、戦略的に堺のコンテンツを発信する ④大阪府市と事務所一体運営の効果を活かし、連携した事業を実施する。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止または延期 ☐ 事業を縮小 ☒ 改善して継続 ☐ 現状を継続 ☐ 事業を拡充 公金投入の方向性 ☐ ゼロ ☒ 縮小 ☐ 現状維持 ☐ 拡大	実施年度 ☒ 令和2年度 ☐ 令和3年度 ☐ 令和4年度以降		
		所見	これまで培ったネットワークを生かしつつ、「東京さかい交流会」組織を堺市への企業進出や投資誘導につながる取組を行うためのネットワークへと広げていく必要があることから、イベント開催などのコストを削減しつつ、様々なネットメディアを効果的に用いることで、新たな関係人口を創出する事業へと転換していく。		